

# JSP

ニュース

2023年4月1日～2023年9月30日

2023年 冬

# No.95

証券コード：7942





代表取締役社長 大久保 知彦

## JSPニュース No.95 Contents

社長メッセージ	1
連結財務ハイライト/ 連結セグメント情報	3
株主優待制度／配当実績/ 株式の状況	5
会社概要	6

## 1 はじめに

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

長く続いたコロナ禍も過ぎ、人々の生活も活気を取り戻してきたところですが、今年の夏は北半球全域で記録的な酷暑となりました。この酷暑は、エルニーニョ現象や偏西風の蛇行などの影響によるものだそうですが、ピーク時の気温が上昇しただけではなく、暑い日が長く続き、農業や水産業にも少なからず影響が出ました。しかし、人々の往来も年初から増え、さまざまなイベントもリアルに開催されるなど、コロナ禍前の日常の生活が戻ってきたことを実感しています。さらには、海外から観光やビジネスで入国する人々が増え、それによる賑わいもうれしく感じています。

常々、申し上げておりますが、発泡プラスチックは、プラスチックそのものの使用量の削減を実現し、その物性の特長にはさまざまなメリットがあります。軽量であることで、自動車などの燃費効率向上、断熱機能による戸建住宅やビルディングの省エネ化促進への貢献や、食品の鮮度保持を通じた食料品ロス削減への対応など、今求められる社会の持続性向上にも貢献できるものです。これからもお客さまをはじめとし、多くのステークホルダーの皆さまと協力を重ね、社会の発展を事業の充実に結び付けていくことが我が社の役割です。

企業理念「創造的行動力による社会への貢献」は、発泡樹脂を出発点にもっと社会の要請にこたえていこうという、我が社の最も基本の理念であり、その実行においては経営理念「Deliver with WOW!」に込めた、さまざまな関係者、ステークホルダーの皆さまとの協調、協力を深化し、喜びを分かち合っていきたいと思っています。

現在の経営環境は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、各国でのインフレ進行、金融政策の変化に伴う経済指標なども大きく変化している状況です。そして、中国経済の成長率が鈍

化している折に、パレスチナとイスラエルの問題が再燃し、国際情勢も緊迫の度合いを増しています。当社も世界に広く事業を展開しており、市場環境から受ける影響は決して小さくはありません。この難しい局面で、状況も刻々と変わるなかではありますが、企業理念と経営理念をしっかりと見据えて、事業の運営を進めてまいります。

## 2 上期の振り返り

2023年度の前半は、国内ではコロナ禍が明け、サプライチェーンの課題も解消され、自動車生産は回復しました。しかし一方で、リモートワーク需要で膨らんでいたパソコンやフラット・パネル・ディスプレイの需要は低調に推移し、巣籠り需要縮小に伴い、持ち帰り用容器や総菜用食品トレイなどの出荷量は減少しました。また、各国でインフレが強まり、労務費をはじめとしたさまざまなコストが上昇し、特に米ドル金利が上昇を続け、他の要因と相まってさまざまな経済活動に影響を与えています。住宅取得マインドを弱めたほか、モノの消費からコトの消費に変わるなどの変化が見られ、当社製品の出荷量も影響を受けました。

そのような中でも前期より進めていた価格改定が定着し、海外では非自動車向け高付加価値製品の販売も増加しました。原料価格やエネルギー価格は高値で推移しましたが、さまざまなコスト改善もあり、マージンは改善しました。

その結果、売上高は66,432百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は3,247百万円(同131.3%増)、経常利益は3,617百万円(同94.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,795百万円(同102.8%増)でした。

## 3 今後の業績見通し

今年度の後半に関しては、物価の上昇も続いている中で、

地政学上のリスクの高まりもあり、人々の消費マインドには圧迫感があると予想されます。自動車生産は一定の水準を維持するものと思われそうですが、米国の自動車メーカーでのストライキの影響など、予測の難しい状況です。地政学リスクは資源価格へ影響し、再び原料価格の上昇の傾向が見られており、マージンが圧迫される可能性があります。期待されるフラット・パネル・ディスプレイ向け需要の回復は先延ばしになっていく状況ですが、引き続き非自動車向け需要の取り込み、コスト削減を強化して収益力の強化に努めてまいります。

このような状況の中で通期の業績は、売上高136,000百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益6,300百万円(同113.1%増)、経常利益6,800百万円(同102.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益5,000百万円(同97.5%増)を見込んでいます。

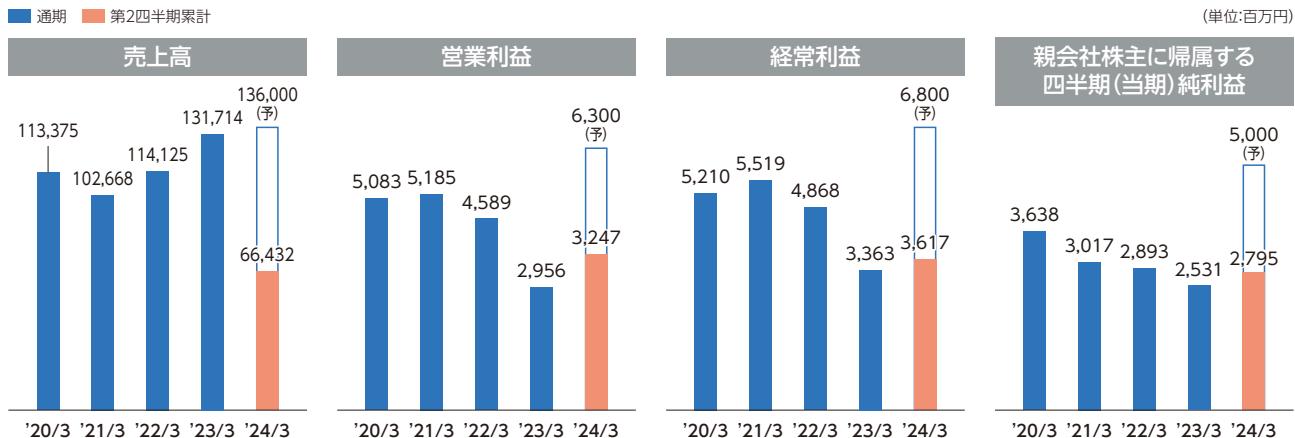
## 4 株主・投資家の皆様へ

本年度は、中期経営計画「Change for Growth」の最終年度です。本中計の期間はコロナ禍の影響が当初の前提より大きく、また資源価格の上昇とそれに伴う原料価格の高騰により、結果は大きく計画を下回る見込みです。この間、それぞれの製品分野で、また各地域でさまざまな課題が見られました。次の中期経営計画の検討では、これらの課題を踏まえ、グループ全体での収益力の強化を計っていくべく、議論を重ねています。付加価値の拡大、汎用品の運営の在り方、さらなるコスト削減など収益拡大に向けた議論と並行し、資本効率の向上に向けた資本政策の在り方についても議論を重ねているところです。今後とも、株式会社JSPへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大久保 知彦

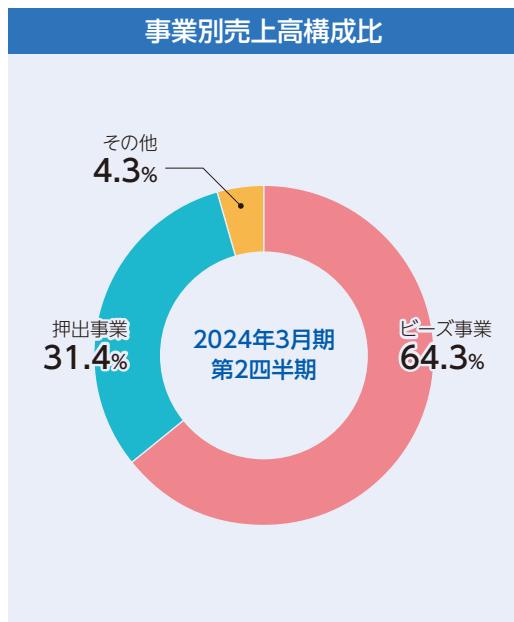
# 連結財務ハイライト

## Consolidated Financial Highlights



# 連結セグメント情報

## Consolidated Segment Information



「スチレンペーパー」を中心とした生活資材製品と「ミラマット®」を中心とした産業資材製品は、販売が減少したことから、売上も減少いたしました。「ミラフォーム®」を中心とした建築土木資材製品の販売は、土木分野向けは減少し、建築・住宅分野向けは前期並みでしたが、付加価値の高い製品などの販売が増えたことから売上は増加しました。

(単位:百万円)	2020/3	2021/3	2022/3	2022/9	2023/3	2023/9
売上高	113,375	102,668	114,125	64,252	131,714	66,432
営業利益	5,083	5,185	4,589	1,404	2,956	3,247
経常利益	5,210	5,519	4,868	1,860	3,363	3,617
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,638	3,017	2,893	1,378	2,531	2,795
純資産	84,646	85,561	90,231	97,383	96,123	103,126
総資産	128,445	129,053	134,527	145,496	144,528	152,063

## ビーズ事業

### 売上高の推移 (百万円)



ピーブロック®(自動車部材)



スチロダイア®(魚箱・野菜箱)

「ピーブロック®」を中心とした高機能材製品は、非自動車分野が好調に推移したことなどから販売が増加し、売上も増加しました。「スチロダイア®」を中心とした発泡性ビーズ製品は、水産・農業分野などでの需要の影響により、販売が減少したことから売上も減少しました。

## その他

### 売上高の推移 (百万円)



一般包材は、国内では、自動車部品輸送関連等の需要の影響により売上は減少しました。中国では、各種部品関連の需要が低調に推移したことにより売上は減少しました。

# 株主優待制度／配当実績／株式の状況

Shareholder Benefit / Dividend Record / Stock Information

## 株主優待制度

### ■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載または登録された1単元(100株)以上を保有されている株主様

### ■優待の内容

一律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルフオカード(株主様は3,000円全額ご使用いただけます)

### ■贈呈の時期

毎年の定時株主総会終了後に発送予定

### ■社会貢献寄附金「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、(公社)国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

## 配当実績

### ■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投資や新規事業展開のための設備投資に充当してまいります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役会決議により行うことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役会決議による配当を基本的な方針としております。

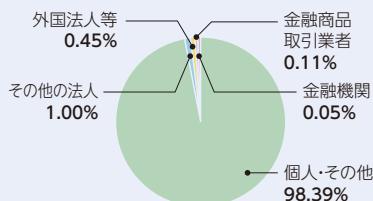
### ■当期配当金

2024年3月期第2四半期の1株当たりの配当金は25円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり25円(通期配当金額50円)とさせていただきます。

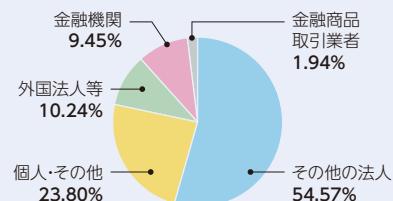
## 株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数 46,000,000株  
発行済株式の総数 31,413,473株  
株主総数 27,586名

### ● 株主数別分布状況 ●



### ● 株式数別分布状況 ●



### 会社概要

商号	株式会社JSP	資本金	10,128百万円
所在地	本社 東京都千代田区丸の内三丁目4番2号	決算期	3月
事業内容	発泡プラスチック、 その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、 土木・建築工事の設計・請負および管理	従業員数	766名(出向者除く) 連結2,964名(国内:1,333名、海外:1,631名)
設立	1962年(昭和37年)1月	事業所他	5営業所、1出張所、11工場、2研究所
		主要関係会社	国内9社、海外27社

### 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号

上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う <a href="https://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html">https://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### お知らせ

2023年10月31日に「自己株式の取得及び自己株式の公開買付け並びに資本業務提携の解消に関するお知らせ」と「親会社及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」を東京証券取引所に開示いたしました。詳しくは、QRコードよりご確認ください。

自己株式の取得及び  
自己株式の公開買付け並びに  
資本業務提携の解消に関する  
お知らせ



親会社及び  
その他の関係会社の  
異動に関するお知らせ



# 本社・事業所一覧

Network

本 社			TEL
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル)			03-6212-6300

営業所			
札幌	〒060-0003	札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル)	011-231-2681
仙台	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町2-4-1(青葉通パークビルディング)	022-262-3271
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル)	052-962-3225
大阪	〒541-0053	大阪市中央区本町1-6-16(いちご堺筋本町ビル)	06-6264-7900
福岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-12-17(五幸ビル)	092-411-6854

出張所			
広島	〒732-0052	広島市東区光町1-12-20(もみじ広島光町ビル)	082-568-0566

工場／センター			
北海道	〒067-0051	北海道江別市工栄町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町5	0289-76-3271
鹿沼第三	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-2	0289-76-5905
鹿沼ミラフォーム	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	(FAX)0289-76-3227
事務管理センター	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	0289-76-2121
再資源センター	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂呂638	0289-76-6606
開発センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町6-1	0289-76-3815
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市東深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市市北小松町1600	059-328-2563
関西	〒679-4304	兵庫県たつの市新宮町下笹515	0791-77-0213
北九州	〒800-0229	福岡県北九州市小倉南区曾根北町2937-7	093-474-7211
九州	〒861-0111	熊本県熊本市北区植木町宮原553	096-274-7101

研究所			
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1245

海外／工場			
<b>北 米</b>		<b>アジア</b>	
JSP International, LLC. (アメリカ)		JSP Foam Products, PTE. LTD. (シンガポール)	
JSP International de Mexico, S.A. de C.V. (メキシコ)		JSP Foam Products (Thailand) Co., LTD. (タイ)	
<b>南 米</b>		JSP Advanced Materials (Wuxi) Co., LTD. (中国)	
JSP Brasil Industria de Plasticos LTDA. (ブラジル)		JSP Advanced Materials (Dongguan) Co., LTD. (中国)	
<b>欧 州</b>		JSP Advanced Materials (Wuhan) Co., LTD. (中国)	
JSP International S.A.R.L (フランス)		JSP Seihoku Material Technology (Kunshan) CO.,LTD.(中国)	
JSP International s.r.o. (チェコ)		KOSPA Corporation (韓国)	
		Taiwan JSP Chemical Co., LTD. (台湾)	



## 発行 株式会社 JSP

東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル  
 広報IR室 TEL.03-6212-6306 FAX.03-6212-6316  
 ホームページ www.co-jsp.co.jp

[表紙]ノルウェー ベルゲン  
 Photo by: S.Yoshida